

< 平成26年度当初予算編成要望書の提出 >

大橋よしひさ議員は、日ごろの活動を通じて気づいたこと、寄せられた声を中心とした平成26年度当初予算編成要望書を会派「前進」として古谷町長に提出しました。

(例) 国体記念広場の外周に距離標の設置を  
障がい者・シルバー人材の仕事量の増を  
小中学校・アグリパークのトイレの改修を



< 第11回大橋よしひさ町政報告会 >

是非お越しください!

< みなさんからいただいた声 >

「エコ・スポいずみのプールを廃止しないでください」

「道路の補修をしてください」などです。

第10回町政報告会  
とき:4月25日(土)  
時間:午前10時~正午  
場所:カルスタすぎと集会室1

大橋 芳久 (よしひさ) プロフィール

昭和55年12月27日 杉戸町生まれ  
杉戸小学校、杉戸中学校卒  
県立越谷北高校卒  
明治大学経営学部経営学科卒  
塾講師を経て学習塾「向学館」独立開業  
杉戸町議会議員 (現在1期)

家族:妻と愛犬  
趣味:読書、旅  
興味・関心:電車、自然  
尊敬する人物:イチロー(野球選手)  
好きな言葉:あきらめたらそこで試合終了だよ

杉戸町議会議員

平成26年1月発行

大橋よしひさレポート

第18号



ブログも更新  
してます!!

発行元 大橋よしひさ後援会  
ところ:杉戸町内田1-2-8 連絡先:0480-34-7363  
e-mail: oohashi\_in\_sugito@yahoo.co.jp

年頭のご挨拶

「一年の計は元旦にあり」と言います。まだ、新しい年を迎えて十数日しか経過していませんが、初日の出を拝みながら決めた「追い込まれる前にやる!」という今年の目標を今のところクリアしています。当選以来2年が経ち、私の任期も折り返し地点を過ぎました。当選したときに決めたことを忘れずに今年も行動したいと思います。今年も「大橋よしひさレポート」ご愛読のほどよろしくお願いいたします。杉戸町議会議員 大橋芳久

杉戸町は「市」になることをあきらめてしまったのか!?

~ 杉戸町の人口増加策を問う ~

杉戸町の人口は47,000人を越えたところをピークに減少の一途をたどっています。このままでは、町民の念願である「杉戸市」への移行が夢となってしまいます。杉戸町はどのように人口を増加しようとしているのかを問いました。

大橋質問:初めに確認をするが、杉戸町は市になることをあきらめてしまったのか。  
政策財政課長答:あきらめてはいませんが、非常に厳しい状況だと考えています。

大橋質問:住民を獲得するのにどの世代をターゲットにしているのか。  
政策財政課長答:子育て世代をターゲットにしています。

大橋質問:そのためにどのような施策を行っているのか。  
政策財政課長答:子育てしやすいように、泉保育園の改修、待機児童対策として統合幼稚園・保育園の建設、子ども医療費を中学校卒業まで無料に、赤ちゃん家庭(0歳児対象)にゴミ袋支給事業などを行っています。

大橋質問:あれもこれもと総花的な施策になっていないか。  
政策財政課長答:「安心・安全」「健康」「環境」「子育て」の4つに選択と集中します。

大橋質問:ただ行っているだけでは意味がない。実際人口の減少が続いている。ポータルサイトなどを使ってどんどんPRする必要があるのではないのか。  
政策財政課長答:今後関係各課と検討をしていきます。

### 〈子どもが多い活力のある町になるために〉

大橋質問：第3子に対する優遇措置をとってはどうか。

子育て支援課長答弁：今後研究していきます。

### 〈子育てを始めるための不妊治療への助成を〉

大橋質問：不妊治療のための助成を行うつもりはないか。  
行政として困っている人を助けるという姿勢が問われているが。

健康支援課長答弁：町として必要かどうか考えていきます。

### 〈今後の町づくりの参考とするために〉

大橋質問：転出者を対象としたアンケートをしてはどうか。

町民課長答弁：参考になるかと思いますが、行う予定はありません。

### 〈「郡」を取ることができないのか〉

大橋質問：イメージアップのために「郡」をとることはできないのか。

総務課長答弁：地方自治法の条令などによりできないと考えられています。

### 〈杉戸町に体育館や総合運動公園を〉

大橋質問：体育館や総合運動公園を作る考えはないのか。

社会教育課長答弁：多額の費用がかかるため（体育館は約20億円、総合運動公園は約50億円）、大変難しい状況ではないかと考えます。

大橋質問：誰もただでできると思っていない。財政が厳しいのもわかるが、基金（貯金）も約20億円ある。たまには町民が夢を見られるような事業にお金を使ってもいいのではないのか。せめて今後の計画に取り入れることはできないか。

社会教育課長答弁：財政にも関係しますが、検討してみてもよいかと思います。

私の仕事のひとつは、みなさんに「夢を見ていただくこと」だと思っています。

みなさんに夢を見ていただけるよう今後も活動をしていきます。

## 「エコ・スポいずみ」が生まれ変わる？

泉地区にある「エコ・スポいずみ」に、杉戸町唯一の町立の温水プールがあることを知っているでしょうか。環境センターでゴミを燃やした熱を一部利用していますが、この「エコ・スポいずみ」に、プールの廃止を柱とした改革案が浮上しています。

Q なぜプールの廃止を検討しているのか。

A 現在「エコ・スポいずみ」の収支は平成24年度で、年約7,800万円の赤字で、その経費を削減するためです。

Q プールの廃止によって節約できる額は。

A 年間約3,000万円の赤字を削減することができる予定です。

Q 現在の利用者数は。

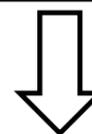
A 年間約85,000人が利用し、そのうちプールの利用者は約65,000人ですが、その半数以上は町外在住の人です。

Q プールを廃止した後はどうするのか。

A 防災備蓄倉庫、文化遺産の常設展示、また地域コミュニティを推進するための施設とします。なお、お風呂は残す予定です。

Q プールを廃止する時期は。

A 今年8月を予定しています。



「健康増進」が町のポリシーなのに、  
財政を考え、「経費削減」のためにプールの廃止を検討！  
分からなくもないが、そこで…

### 民間事業者との協働を行っては！？と大橋提案する。

A 公平性・公正性などの観点から難しいです。

Q そんなこと言っていたら、何も始まらない。  
水泳教室を行っているのは町内で1社だけだ。  
去年、町長は4C（挑戦・創造・協働・変革）を掲げたが、それに適合するのではないか。

A 民間のプールを紹介するパンフレットの掲載などを行うことを検討していきます。



改革案が浮上するエコ・スポいずみ